

新シリーズ

# 三豊市の現状

三豊市の行財政改革も、行政改革推進委員会、市議会の行財政改革調査特別委員会において、厳しい議論が始まりました。しかし、行財政改革は、市役所のあり方だけでなく、市民の皆さまに提供する行政サービスのあり方も変革することになります。面積が広く人口密度の低い三豊市は、市民のご理解を得て、全市をあげてやらないかぎり、行政改革を進めることはできません。このシリーズでは、市の現状を皆さまに公開して問題点を共有し、三豊市民、市職員が力を合わせて行政改革への意識を高めてまいりたいと思います。

三豊市長 横山 忠 始

## 合併の残した課題

7町合併した三豊市は、それぞれの町が、国からの交付税や補助金が大いに削減される中ではやっていけない」という財政見通しの中で合併をしました。やっていけない者同士が集まったのですから、当然このままではやっていきません。合併をして、徹底した行政改革を進め、行政体質をスリムにしなければ合併そのものが意味をなさなくなります。目下、合併による行財政改革効果は、首長、旧町議会議員、特別職（助役、収入役、教育長など）の減少だけと言っても言いすぎではありません。事実、人口や財政規模がよく似て

いる全国の類似団体と比較してみると、職員数、公共施設数、財政規模等、すべて身の丈より非常に大きい行政体になっています。

## 身の丈を大きく上回る職員数

まず今回は、本市の職員数からお知らせします。三豊市と類似団体の比較を下の表で見てください。

一般行政職と教育行政職を加えた普通会計における職員数は、三豊市が252名も多い状態です。さらに詳細を見ると、総務、民生および教育部門が目立って多くなっています。

三豊市の場合、総務部門には支所職員が、また、民生部門は保育所職

## 現在の職員数の状況

(H18 4.1 現在の職員数による比較 単位：人)

区 分	三豊市の職員数	類似団体の職員数	三豊市の超過数	
福祉関係を除く一般職員	議 会	7	6	1
	総 務	172	115	57
	税 務	31	32	1
	労 働	—	2	2
	農 林 水 産	60	30	30
	商 工	12	11	1
	土 木	48	55	7
福祉	小 計	330	251	79
	民 生	162	116	46
特別	衛 生	59	45	14
	一般行政部門 計	551	412	139
特別	教 育	234	121	113
	消 防	—	—	—
特別行政職員 計	234	121	113	
普通会計 計	785	533	252	
病 院	97	—	—	
水 道	21	—	—	
交 通	—	—	—	
下 水 道	4	—	—	
そ の 他	33	—	—	
特別会計 計	155	—	—	
総 計	940	—	—	

県内8市の部門別職員数の状況

(H17.4.1現在 単位:人)

	高松市	丸亀市	坂出市	善通寺市	観音寺市	さぬき市	東かがわ市	三豊市
一般行政計	2625	741	408	219	414	360	262	568
教 育	-	192	140	63	140	132	66	243
小 計	2625	933	548	282	554	492	328	811
公営企業等	171	139	232	23	88	353	24	171
総 合 計	2796	1072	780	305	642	845	352	982

※高松市…一般行政に教育含む  
 ※丸亀市…綾歌町、飯山町含む (H17.3.22合併)  
 ※観音寺市…大野原町、豊浜町含む (H17.10.11合併)  
 ※三豊市…合併7町計 (H18.1.1合併)

(出典) 給与・定員管理等の公表から

員、教育部門は幼稚園職員、学校給食調理員が含まれます。次に、県内他市との比較をしてみましよう。平成17年4月1日現在で、左の表のようになります。

市税で賄えない人件費

県内の他の市との比較でも、普通会計の職員数は、観音寺市よりも257名多く、人口11万人の丸亀市より122名少ないだけとなっています。さらに、教育職は丸亀市よりも51名多いという実情です。

このように三豊市職員の現状を数だけで考えてみると、本市の財政規模や人口からすると職員数が普通会計で250名程度多いというのが実態です。

もちろん基本的には、職員数よりも人件費総額が問題なのですが、それに関しても、平成18年度予算では、人件費総額69億7千万円余りに対し、市の実質収入の柱である市税は67億5千万円余りとなっており、人件費が市税で賄えない状況にあります。歳出に占める構成比においては、25.5%となっています。

総人件費をどう考えるかは、行財政改革の重要な柱の一つです。

管理職の現状

さらに参考までに、管理職の現状をお知らせしますと、三豊市の課長補佐以上の管理職は194名です。

その内訳は次の表のようになります。

管理職職員数の状況

(H18.7.1現在 単位:人)

管理職名	人 数
部 長	8
次 長	11
課 長	60
主 幹	13
課長補佐	102
計	194

他市との比較は、名称や仕事内容、あり方がすべて異なるため、単純な比較は少し困難ですが、管理職の割合としては、26.25%となっています。

今後の退職予定者数

ちなみに、今後10年間の定年退職予定職員数は、下の表のようになります。

この表が基本になって、行政改革推進委員会で職員の削減計画がつけられることとなります。

今の職員数も人事配置も、合併に向けて押し込んだ極めて暫定形であり、仮の姿と考えていきます。

私たちは本来あるべき姿を目指して、今、模索を始めました。市民の皆さんも市職員も、皆で三豊市行政のあるべき姿を考えてみましょう。

年度別定年退職者内訳 (職種別)

(単位:人)

年度	職名	行政職	幼稚園	保育所	病 院	技 能 労 務 職	合 計	年度	職名	行政職	幼稚園	保育所	病 院	技 能 労 務 職	合 計
18年度		10	0	1	2	3	16	24年度		21	5	3	2	7	38
19 "		16	2	3	2	7	30	25 "		23	1	8	1	4	37
20 "		28	2	1	2	7	40	26 "		25	8	8	3	3	47
21 "		21	2	1	2	6	32	27 "		18	8	10	4	2	42
22 "		26	0	4	4	5	39	合 計		212	32	43	23	50	360
23 "		24	4	4	1	6	39								

技能労務職…例えば、給食調理員・用務員・運転手などです。

今こそアイデアや案を出すべき時です。試行錯誤を恐れず、勇気をもって挑戦する時だと思っています。